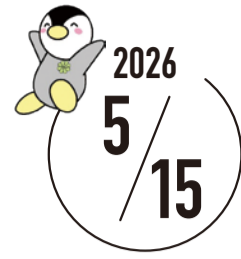




ちゅうおう



デジタル版は
こちら



Multilingual

笑顔つなぐ
あなたに一番近い、安心の架け橋。

～ 民生委員・児童委員 ～



ハート オブ 東京 中央区



中央区長

やまもと たいと

山本 泰人

地球温暖化対策として平成18年度に東京都檜原村で開始した「中央区の森事業」は、他に先駆けた本区環境施策の中心をなす取組です。当初の数馬地区から南郷、矢沢、本宿へと順次拡大し、現在56.4ヘクタールという広大な規模に達しています。昨年3月には、生物多様性の保全が図られている区域として、国の「自然共生サイト」にも認定されました。これは、檜原村をはじめ多くの関係者の皆様のご尽力によるもので、今年度で事業開始20周年を迎えます。来る11月には、檜原村において記念式典を開催する予定です。

この中央区の森事業に続き、令和3年には「ゼロカーボンシティ中央区宣言」を行いました。以降、福島県大熊町との連携による再生可能エネルギーの導入や、若者が環境問題を自分事として考え実践することで、ゼロカーボンの機運醸成を図る「Team Carbon Zero」を結成するなど、脱炭素化に向けた多様な取組

みに注力してまいりました。

未来に目を転ずると、中央区の緑の展望は大きく広がっていきます。明治期には外国人居留地が開設され、文明開化を象徴する場所の一つでもあった築地は、緑に囲まれた交流拠点となることから、歩行者デッキにより築地川アメニティ空間につなげ、緑の連続性を生み出していきたいと考えております。さらに、旧東京高速道路(KK線)や日本橋の川沿いでは水と緑の遊歩道が整備されるなど、まさに車中心から緑に包まれるウォークラブルなまちに変貌を遂げていくのです。区の力を結集し、関係機関と連携しながら、これらの取り組みを着実に進めてまいります。

6月は環境月間です。6月7日にはあかつき公園でエコまつりを開催します。皆様とともに環境を考える機会にしたいと思います。

青葉若葉 もう一步 足伸ばしけり 泰人

民生委員・児童委員

こんな活動をしています!



高齢者などの戸別訪問

ひとり暮らし高齢者などの自宅を訪問しています。生活状況や健康状態、困っていることなどを伺い、必要に応じて関係機関へつなぎます。



子育て交流サロン

「あかちゃん天国」のボランティア

一部の児童館で実施している「あかちゃん天国」で、子育てに関する情報提供や育児に関する相談に乗っています。民生委員・児童委員は、黄色またはオレンジ色のエプロンを着用して活動していますので、お気軽にお声掛けください。



マイホームはるみの傾聴ボランティア

月島地域を担当している委員が、中央区立特別養護老人ホーム「マイホームはるみ」で月に2~4回程度、利用者さんのお話し相手をしています。

Interview 現役委員の方々にお聞きしました。



委員になったきっかけは？ また活動内容を 教えてください

鈴木さん：退職後に町会活動を手伝っていた頃でした。近所に住んでいた顔見知りの前任者に声を掛けられ、委員を引き継ぐことになりました。

主な活動として、京橋地域では「子育てサロン」や「認知症カフェ」などを運営しており、顔見知りになった近所の子どもからよく手を振られますね(笑)。

山崎さん：「(委員を)やりませんか」と打診があり、前任者の方には母がお世話になりましたし、「生まれ育ったこの地域(八重洲)に少しでも役立ちたい」と快諾することに。日本橋地域では、浜町児童館や堀留町児童館であかちゃん天国のボランティアをしています。

また、「子どもフェスティバル」や「健康福祉まつり」では、車いす体験コーナーを運営しています。



京橋地域民生委員・児童委員
鈴木さん

木皿儀さん：以前PTAの会長を務めていたのですが、仕事柄行政の方々との交流機会も数多く、そこで「主任児童委員にならないか」と誘われました。活動中に、今度は地区の民生委員・児童委員の前任者が任期を終えることに。そのタイミングで私に声が掛かった、という流れです。

月島地域では、月島児童館と晴海児童館であかちゃん天国のボランティアを、マイホームはるみで「傾聴ボランティア」の活動などを行っています。利用者さんたちも、ご自身の昔話をしている時、顔がパツと明るくなります。

印象に残るエピソードや出来事、 心がけていることは何ですか？ また、 どんな所にやりがいを感じますか？

鈴木さん：委員になりたての頃、住む場所に困っていたホームレスの方とあるきっかけで知り合いになりました。後日、「住居について区役所へ一緒に相談しに行きませんか？」と声掛けをしたら無事、施設への入所が決まり安心しました。また、この活動を通して他の委員の方と触れ合えることも魅力のひとつ。交流も深まります。今後も「相談者のよき“通訳者”でありたい」と思いながら活動していきます。



▲東京都民生委員・児童委員イメージキャラクター「ミンジー」

地域の身近な相談相手です

民生委員・児童委員は地域の推薦を受け、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。一人一人が担当区域を持ち、福祉に関するさまざまな相談に対応し、行政や関係機関へつなぐパイプ役です。現在、中央区では約100人が活動しています。

たとえばこんなとき…

区民



高齢の家族が認知症かも…

民生委員・児童委員 主任児童委員

専門的な知識を持つ職員に相談してみたらどうかしら



▶おとしより相談センターを紹介



災害時の避難が不安…

「災害時地域たすけあい名簿」に登録してみませんか



▶高齢者福祉課を紹介



近隣にお住まいの乳幼児の親子と交流がしたい

「あかちゃん天国」に行ってみませんか



▶子育て交流サロン「あかちゃん天国」を紹介

※民生委員・児童委員には守秘義務があります。安心してご相談ください。

相談の流れ

1 居住している地域の委員にご相談ください

担当の委員がわからない場合などは、問へご連絡ください。

2 関係機関へ橋渡しします

お困りごとの内容に応じて、適切な関係機関へ橋渡しします。
◎関係機関：区役所・おとしより相談センター・社会福祉協議会など

3 その後も継続支援します

民生委員・児童委員



問 地域福祉課地域福祉推進係
☎(3546)5393



日本橋地域民生委員・児童委員
山崎さん

山崎さん：ひとり暮らしの高齢女性の家でしたが、ある日訪れてみると誰もいないし、返事もない…。根気強く探してみたら、その方は奥で静かに横になっていました。その後、施設に入れ、「もっと早く相談すればよかった」とおっしゃっていました。このエリアでは開発に伴う立ち退き問題など、特有の課題がありました。でも

「話をしたらスッキリした」という方も多し。だから何時間でも粘り強く傾聴するように心がけています。相手の気持ちに寄り添うことが大切なんです。

木皿儀さん：担当地域に、共同トイレ・炊事場付きの古いアパートにお住まいの高齢の方がいまして。エアコンも無く、夏の日中は区の施設へ避難していたようです。何度も訪問する中で施設への入所を決意して頂き、ホッとしました。月島地域は特にタワマンや長屋が混在しており、日頃から孤独を感じる方も多いのかもしれません。皆さん「誰かとお話したいんだなあ」と感じますね。お話を聞いて、共感することが大事と痛感しています。

最後に 区民の皆さんへのメッセージ、 今後の活動への抱負をお聞かせください



鈴木さん：民生委員・児童委員は地域のことをよく知っている人が多いです。近所の相談相手として、まずは些細なことでも構いませんので、福祉に関するお困りごとなどを相談してください。私たち民生委員・児童委員と一緒に対応方法を考えましょう。

山崎さん：ボランティア(奉仕)、助け合いの精神を忘れたくないですね。行政との橋渡し、パイプ役となり「相手の暮らしをよくしてあげよう」「困っている人たちの手助けをしよう」という気持ちで活動していきたいと思っています。

木皿儀さん：主任児童委員を務めていた時は、子どもとその親御さんが相手でしたが、民生委員・児童委員になってからは高齢の方々と触れ合うことで、さまざまな人の暮らしについて理解が深まりました。一人一人の方に共感する姿勢を忘れずに活動していきたいですね。



月島地域民生委員・児童委員
木皿儀さん